

熱中症予防対策に係る効果的な情報発信

令和4年6月22日

基本的な考え方

- ✓ 熱中症の危険性が極めて高い暑熱環境が予測される際に、その危険性に対する国民の「気づき」を促し、予防行動に繋がるものとなるよう設計する必要がある。
- ✓ 熱中症の危険性が極めて高い暑熱環境が予測される際に、効果的に活用されるよう、適切な頻度となるよう設定する必要がある。
- ✓ 周知する際には、情報を受けてどのような予防行動をとるべきかについての情報も、併せて周知する必要がある。
- ✓ 情報は、受け手が理解しやすい内容となるよう、呼びかける内容を単純化する、具体的に取るべき予防行動を含める、名称や色づかいをわかりやすいものとする、等の工夫を行う必要がある。
- ✓ 熱中症対策については、環境省や各主体が測定する「暑さ指数」や、他の様々な情報と組み合わせて、より一層推進することが重要である。
- ✓ 国民や様々な関係団体（特に学校関係や医療・保健・福祉関係）に情報が届き、実際の対策に結びつくように、関係省庁、自治体、報道機関、その他民間企業等に周知や活用について協力いただくよう呼びかける必要がある。

出典：熱中症予防対策に資する効果的な情報発信に関する検討会報告書(令和3年1月)より抜粋

今回ご議論いただきたい項目

1. 国民目線からの情報発信のあり方

- 国民にとってなじみの薄い、暑さ指数（WBGT）だけでなく、追加的により簡易的に熱中症の危険度・行動指針を示すことが必要ではないか
 - 案1) 暑さ指数の5段階表示（極めて危険、危険、嚴重警戒、警戒、注意）
 - 案2) 熱中症発生倍率（仮）
- 令和3年にカナダで発生した顕著な高温のような場合の熱中症警戒アラートのあり方
- 東京都のアラート発表について、東京本土と小笠原諸島等の離島は発表単位を分けてはどうか

2. 梅雨明け前後や地域ごとの情報発信のあり方

- 梅雨入り前5-6月においても、スポーツなどを行う際の注意喚起が必要ではないか
 - 例) 5-6月における体育大会での多数の救急搬送
- 暑熱順化が十分でない梅雨明け時期等における情報発信のあり方（資料3-1で検討）
 - 例) 6月と9月が同一基準となっている現状での情報発信
- 地域による情報発信のあり方（資料3-1で検討）
 - 例) 北海道と沖縄が同一基準となっている現状での情報発信

熱中症の危険度の示し方（案）

■ 国民にとって分かりやすい情報発信（案1：暑さ指数の5段階表示） ■

熱中症の危険度を踏まえ、以下の予防行動を促す

- 外出の抑制
 - エアコン等の使用
 - こまめな水分補給、塩分補給
 - 適切な休憩
 - 高齢者、子ども等への声かけ
 - 暑さ指数の確認
- 等

危険度	暑さ指数 (WBGT)	注意すべき生活活動の目安	死亡・重症化リスク	参考：東京都における発生日数 (※3)
極めて危険 (熱中症警戒アラート)	33以上		死亡リスク 増	15日
危険	31以上33未満		重症化リスク 増	25日
嚴重警戒	28以上31未満		中等度以上の生活活動 (※1) で発生する危険性	27日
警戒	25以上28未満	強い生活活動 (※2) で発生する危険性	43日	74日
注意	25未満			

(※1) 運動や激しい作業時 (※2) 激しい運動や重労働時 (※3) 過去5年間の4月～10月(184日間)の年間平均日数

(参考) 日本生気象学会「日常生活における熱中症予防指針」 Ver.4

日常生活における熱中症予防指針

WBGT による 温度基準域	注意すべき 生活活動の目安	注意事項
危険 31°C以上	すべての生活 活動でおこる 危険性	高齢者においては安静状態でも発生する危険性が高い。外出はなるべく避け、涼しい室内に移動する。
嚴重警戒 28°C以上 31°C未満		外出時は炎天下を避け、室内では室温の上昇に注意する。
警戒 25°C以上 28°C未満	中等度以上の 生活活動で おこる危険性	運動や激しい作業をする際は定期的に十分に休息を取り入れる。
注意 25°C未満	強い生活活動 でおこる 危険性	一般に危険性は少ないが激しい運動や重労働時には発生する危険性がある。

日本生気象学会「日常生活における熱中症予防指針」 Ver.4 (2022年5月25日)

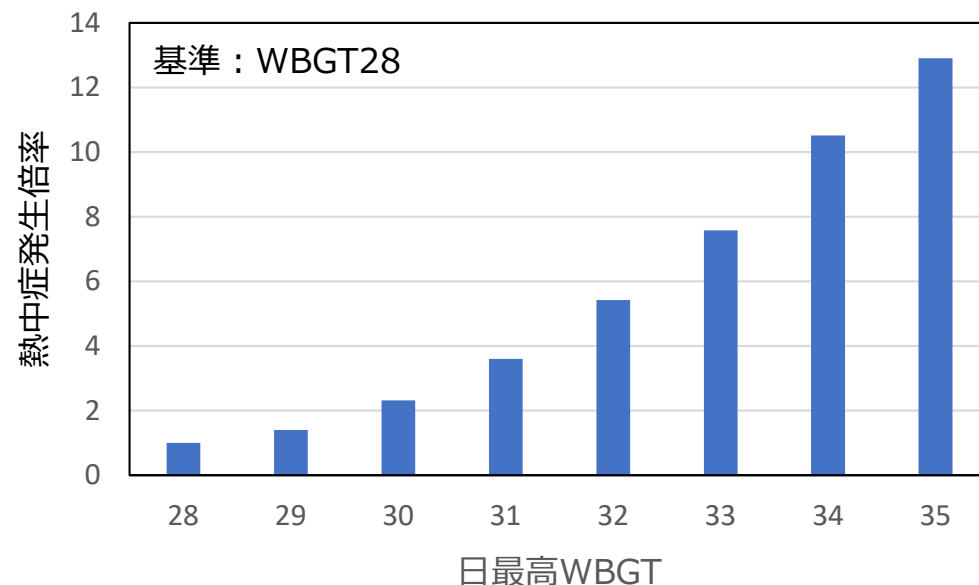
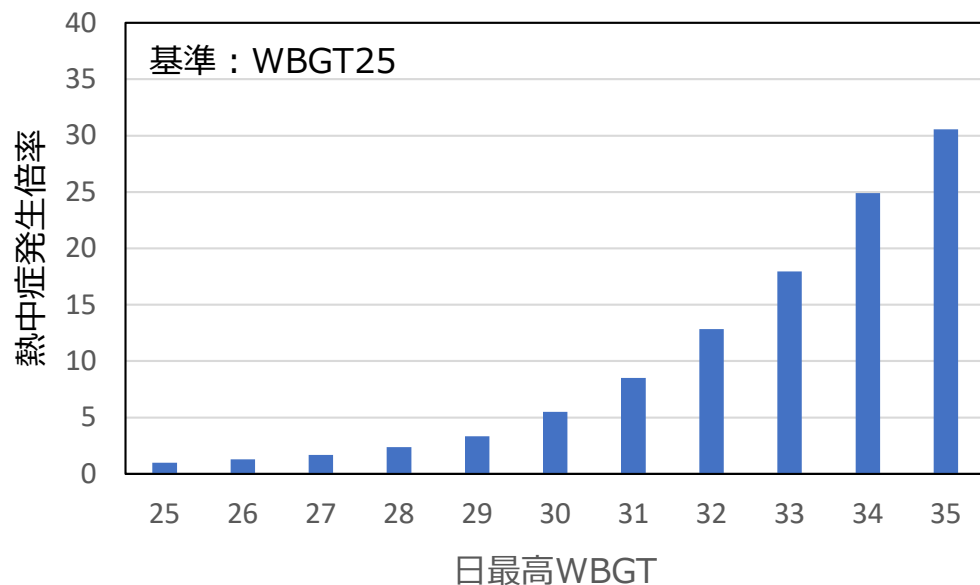
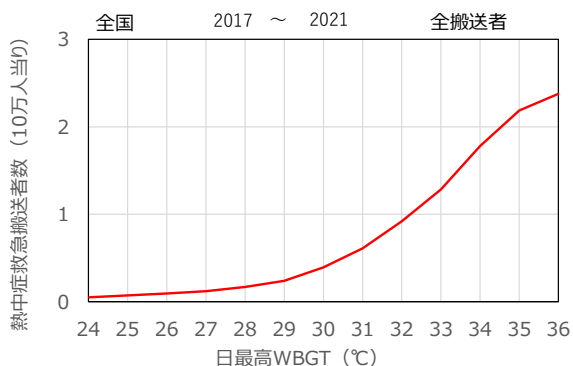
熱中症の危険度の示し方（案）

■ 国民にとってわかりやすい情報発信（案2：熱中症発生倍率（仮）） ■

熱中症のリスクを直感的に捉えていただくため、WBGT別の熱中症発生倍率（仮称）などの指標を検討できないか。

使用データ

- ・都道府県別熱中症救急搬送者データ（総務省消防庁）：2017～2021年（5～10月）
- ・全国840地点の暑さ指数（WBGT）データ（環境省）：2017～2021年（5～10月）
- ・都道府県別人口データ（総務省統計局）：令和2(2020)年国勢調査



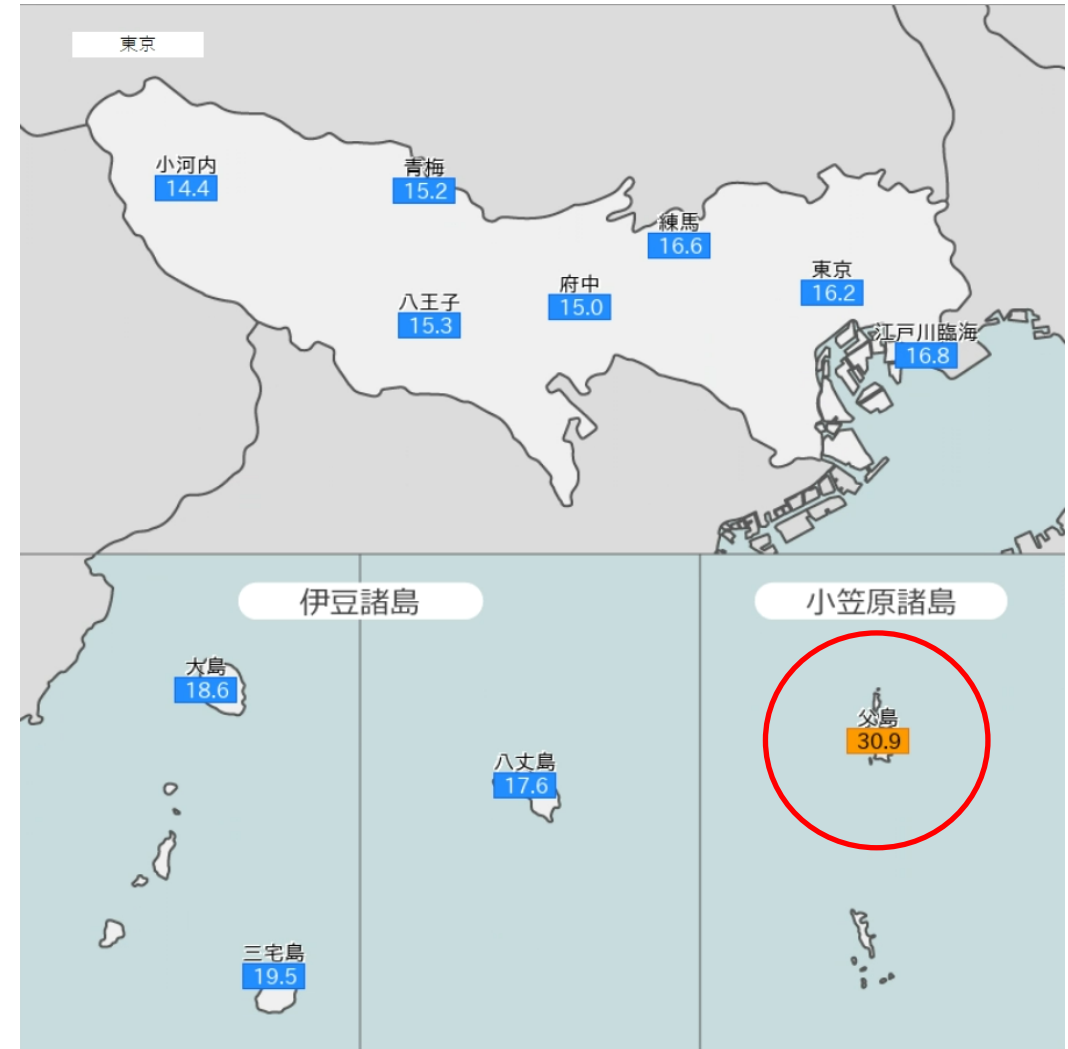
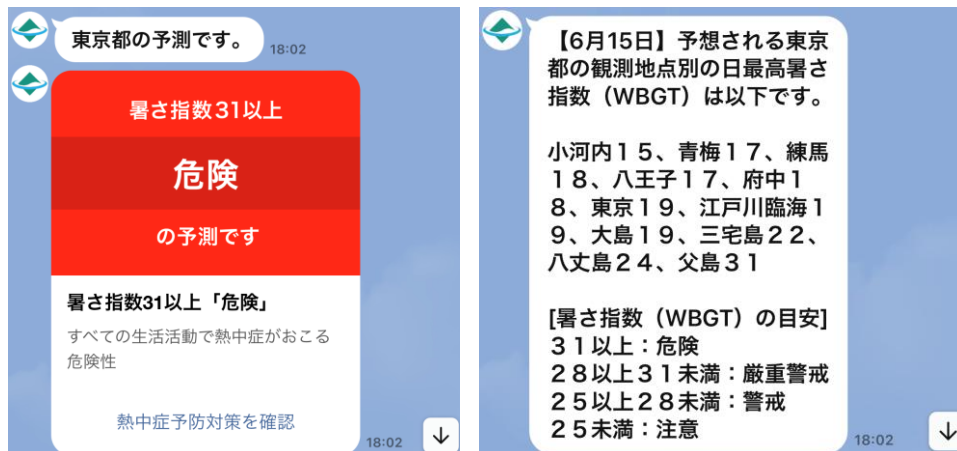
アラート発表単位の考え方

■ 発表単位の考え方 ■

東京都の発表区分は本土だけでなく伊豆諸島、小笠原諸島を合わせて一つの区分になっている。

本州が梅雨明け前のとき、小笠原だけが暑くなり、東京都の発表区分における暑さ指数が「**嚴重警戒**」や「**危険**」になり得る。

令和4年6月14日16時時点



スポーツ時の注意喚起のあり方

■ 5月、6月に発生した熱中症とみられる多数の救急搬送事例 ■

搬送日時	搬送場所	状況	搬送人数	日最高WBGT	マスク有無	引用記事
6/10	小学校 (沼津市)	体育の授業中	8名	24.5	無	2022/6/11 静岡新聞 朝刊
6/8 10:35頃	小学校 (神戸市)	体育の授業中	6名	21.9	有	2022/6/9 日本経済新聞 大阪朝刊 社会面
6/3 11:10頃	中学校・高校 (尼崎市)	体育大会練習中	22名	26.2	有	2022/6/4 毎日新聞 地方版
6/2 15:15頃	中学校・高校 (大阪市)	体育大会中	30名	23.1	有	2022/6/3 日本経済新聞 夕刊
6/1 15:00頃	高校 (板橋区)	体育大会中	5名	20.7	無 (競技中のみ)	2022/6/1 NHKニュース
5/28	県高校総体会場 (佐賀市)	県高校総体中	2名	24.8	-	2022/5/29 西部読売新聞 朝刊
5/22 10:30-15:30頃	黒部名水マラソン (黒部市)	マラソン大会中	4名	20.9	-	2022/5/23 富山新聞

調査方法 (2022/6/17 午前9時現在)

- ・データベース：日経テレコン
- ・検索対象：187紙（全国紙、一般紙、地方紙、専門紙、スポーツ紙）
- ・検索ワード：「熱中症」「搬送」（and条件）
- ・検索記事数：335件
- ・熱中症救急搬送記事数：61件
- ・同日の集団搬送記事数：7件